

教員紹介

ある患者との出会いが 変えた思い

理学療法学科 助教 ふくしまさと 福島真人

私は現在助教という立場で学生のみなさんのサポートをしています。中学・高校と陸上部に在籍。

5歳年上の兄が理学療法士を目指していたこともあり、この分野には早くから興味を持っていました。

中学3年生の頃には「将来は理学療法士になりたい」と考えるように。

本学へと進学し、大学院を卒業し今日に至っております。

そんな中、大きな志をもつきっかけとなったのが、障害の重い子どものリハビリに携わった事です。

残念なことに彼女は20才前に他界しましたが、それでも頑張っているという思いの強さに深く感動させられました。今もその思いを胸に、人との出会いに学び、積極的に疑問解決することが大切だということを学生のみなさんにも伝えていければと願い頑張っています。



大きな志をもつきっかけとなったのが、障害の重い子どものリハビリに携わった事です。

職員紹介

業務を通じて 発展に尽力いたします

さいとうやすのり
経営企画室 主幹 齋藤康道



青森県からの派遣で現在3年目になります。

経営企画室では、役員会の運営や中期計画・年度計画の策定及び実績報告のとりまとめなどを担当しています。

本学では、平成20年度の公立大学法人化以降、事務職員の専門性を高めるため、法人固有職員の採用を進めており、今後、法人固有職員で、本学をより効率的に運営してもらえるよう、これまでの知識や経験などを伝えていくところです。

今後とも、本学をよろしくお願いいたします。

ちよつとこころ

実は本学の敷地内にはいたるところにアート作品があり、ちょっとした美術館とも言えるんです。彫刻や絵画など、空間バランスを考え、11作品が配置してあります。

例えば管理・図書館棟エントランス正面前庭に、大学のシンボルの要素として設置されているのが、本県弘前市出身の彫刻家梅原正夫氏の作品「森のなかま」。植物・人間・動物を題材とした同作品は夢・希望・情熱・心の温かさを感じさせてくれます。

また絵画でも本県出身の著名な作家の作品が飾られています。看護系教室棟には佐野ぬい氏の油彩「インターセプト」、理学療法系・社会福祉系教室棟の工藤甲人氏の日本画「狐婚」もすばらしいものです。本学においでの際は、学内アート散策を楽しんでみてはいかがでしょうか？

